

やまがら

2025年
春 号
No.58松山市議会議員
梶原ときよし
会派:新風会(市政監視を行う無所属3人)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

あなたが尊重される社会へ

- 松山市立の総合病院を設立し、市民の命と健康を守ろう！
- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切にし、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

毎年、冬には自宅に来てくれます。

野志
市長松山城 城山崩壊事故(3人死亡) 2024年7月12日発生
災害現、回避不可能と責任取らず!!業務上過失致死傷害罪を恐れ逃げる?!
被災者救済せず

主な請願事項は
1 緊急車両用道路の設計・施工・管理等について、外部の専門家(第三者)も参加する客観的で適切な検証の実施と、検証資料・議事内容等の開示を要望いたします。

2 市に提出した質問状・要望書に対する十分な回答と、住民の理解が深まるような説明会の開催を要望いたします。

(2面へつづく)

請願に賛成討論を行う
梶原議員

被災住民からの請願は、市長与党の立場に立つ
「自・公・ともに」等が反対し
否決されました。

何を考えているのでしょうか?

2025年3月議会
新風会代表質問 (抜粋)
梶原 時義
2025年3月3日

4期目の野志市長も、城山崩壊事故でけの皮がはがれたと言つても過言ではない責任逃れ発言の連続で、事故から7か月以上も15分間の説明でいきなり「松山市には責任が無く、補償はできません」と冷たく言い放ちました。

どうも、野志市長の意識が変わると、或いは市民が市長を変えるしか、被災市民の「幸せになろう」は実現しないように思えてなりません。

私は新風会・梶原時義は120分間、市民の命と健康を守り、税金の無駄遣いをさせないように市政を監視する立場から全力で質問に入りました。

被災住民の怒号の中、第三者を入れての検証や再度の説明会要求に対しても、野志市長は開催するとは言いませんでした。

2月28日付愛媛新聞の社説では、「市長の被災者に向き合わない姿勢が住民との溝を深めた」と批判しています。

被災住民の怒号の中、第三者を入れての検証や再度の説明会要求に対しても、野志市長は開催するとは言いませんでした。

2月28日付愛媛新聞の社説では、「市長の被災者に向き合わない姿勢が住民との溝を深めた」と批判しています。

被災住民からの請願は、市長与党の立場に立つ「自・公・ともに」等が反対し
否決されました。

梶原時義の請願賛成討論

新風会の代表質問で、事故から7ヶ月たつてやつとのことで2月24日に開いた住民説明会だが、「市長は被災住民に事故の責任を含め十分納得していただけたと思うのかイエスかノーで答える」という私の質問に「納得されていなかが」という程度の認識には開いた口がさがりません。

説明会場へ行った人なら、ほぼ全員が納得していないのは誰の目にも明らかなのに「納得されていなかが」というトンチンカンな答弁をしていました。

今まで住民から出していた質問状に回答していないこともあり得ませんが、住民からは本市から初めて出された資料に対し、その内容を十分確認した上で質問でくる説明会を再度開くよう要求がありました。それにはつきりとした返事を出さないから、今回この請願が出たのではないか。

7ヶ月放置しておいて、15分説明したら説明会で幕引きを図りたいという姿勢が見え見えで、住民の不信感は増すばかりであり、何度説明会を開いてでも市長も議員も職員も真剣に被災者市民と向き合う必要があるという事を申し上げて私の賛成討論とします。

61年間続けた高齢弱者見殺しか!! 野志市長はもう限界ではないか!!
はり・きゅう助成を突然廃止!!

バスで買い物に来て、バスで帰る高齢者が、バス停にベンチがないために重い荷物を持って、立つてバスを待たなければならぬのが(特に夏の暑い時期)本当につらいので何とかしてくださいと訴え解決策を求め、伊予鉄バスをはじめ地元町内会などに設置のお願いを行つたがベンチ設置費用が出てないとの理由で野志市長は、夏の暑いときに重い荷物を持ち立つて待たされている高齢者があつても、何とかしてあげようと思わないのか。

セブンスター石手店の近くにあるバス停にベンチを設置してほしいといふ野志市長が言う「幸せになるう。」とは何なのか。

梶原議員の質問

バス停のベンチは、基本的には、利用者の利便性向上のため、事業者が設置するものですが、国や県の管理道路にあるバス停に、本市がベンチを設置することは困難であると考えています。高齢の利用者が多くなるなど周辺環境に変化があれば、事業者や道路管理者、地元住民と協議していきたいと考えています。

都市整備部長の答弁



梶原議員の質問

本年1月22日に出した通達で3月末日をもつて廃止するとした国保のはり・きゅう助成制度の廃止は、市民の健康増進計画と鍼灸師の経営計画を阻害するものであります。撤回して段階的に縮小するなど、激変緩和措置を取つた上で再検討すべきではないか。

梶原議員の質問

本年1月22日に出した通達で3月末日をもつて廃止するとした国保のはり・きゅう助成制度の廃止は、市民の健康増進計画と鍼灸師の経営計画を阻害するものであります。撤回して段階的に縮小するなど、激変緩和措置を取つた上で再検討すべきではないか。

梶原議員の質問

年連続で黒字であり28億円も繰り越しており現状での廃止はあつてはなりません。年連続赤字とはいえ、形式収支は13年連続で黒字ですが、はり・きゅう助成を実施してきました。次に、医学的見地ですが、はり・きゅう術規則を施行し、保健事業として、はり・きゅう助成を実施してきました。

梶原議員の質問

年連続で黒字であり28億円も繰り越しており現状での廃止はあつてはなりません。年連続赤字とはいえ、形式収支は13年連続で黒字ですが、はり・きゅう助成を実施してきました。次に、医学的見地ですが、はり・きゅう術規則を施行し、保健事業として認められないと認識しています。

梶原議員の質問

利用している市民や鍼灸師に命の問題として大激震が走った。国保会計の単年度続いたのが主な理由のようだが、形式収支は13年間連続で黒字であり、厳しい財政状況とはいえ2023年度も約28億4000万円が2024年度に繰り越されていて。過去、61年間にわたり助成制度を続けてきた意義は何か。

福祉推進部長の答弁



梶原議員の質問

1月22日に、はり・きゅうの施術による医療費削減度と想定しているのか。また、利用者の年間負担増はどの程度と想定しているのか。

梶原議員の質問

1月22日に、はり・きゅうの施術による医療費削減度と想定しているのか。また、利用者の年間負担増はどの程度と想定しているのか。

梶原議員の質問

廃止した場合の鍼灸院の減収はどの程度と想定しているのか。また、利用者の年間負担増はどの程度と想定しているのか。

梶原議員の質問

はり・きゅうの施術による医療費削減度と想定しているのか。また、利用者の年間負担増はどの程度と想定しているのか。

福祉推進部長の答弁



議会質問

梶原ときよし

3月議会（新風会） 代表質問より抜粋

2025年
3月3日



被災住民を7ヶ月も放置

説明会

「あなた達は信用できない!!」

昨年7月12日の事故から7ヶ月たつて、やつとのこと城山土砂崩れの説明会を開いたが、市長は被災住民に対し一人でも多くの方に納得してもらう気持ちはあるのか。

梶原議員の質問

事故から7ヶ月たつて、2月24日に開いた住民説明会だが、市長は住民に事故の責任を含め十分納得していただけたと思うのか。イエスかノーで答えよ。併せて理由も述べよ。

梶原議員の質問

「7か月ほつたらかしであった。」市の想いは何も響かなかつた。など、厳しい意見もあり、納得をされないなかつた方もいたと思いますが、今後も個別に丁寧に対応していきたいと考えています。

説明を理解したとか、納得したとか発言された住民は、一人もいませんでした。

梶原議員の質問

当日、私を含め新風会の議員だけは傍聴した。私の予想どおり市民の誰一人納得して帰った人はいなかつたと思うが、原因は何か。

梶原議員の質問

市の見解と住民の皆さまの考え方と相違がつたことだと考えています。

梶原議員の質問

私が思うに、住民が一番怒っているのは市長が屁理屈を言つて住民が何度も申し入れた住民説明会を開かず、7ヶ月も放置したことではないのか。技術的な説明もしかりだが、まずは被災住民に寄り添う市長の姿勢が、全く足りないと思うがどうか。

梶原議員の質問

災害の原因が特定されなければ、責任ある対応が出来ませんので、検討委員会の結果が出るのを待つておきました。検討結果がとりまとめられて、この時期になつたものです。

梶原議員の質問

先日実施した市の説明会では、説明できることは可能な限りお伝えしたと考えています。

梶原議員の質問

7ヶ月も待たせておいて、僅か15分の説明で本市に責任がないと言い放つ野志市長に、住民は改めて失望したのではないか。今まで住民から出でた質問状に回答していないことも、あり得ないが、住民からは本市から初めて出された資料に対し、その内容を十分確認した上で質問でくる説明会を再度開くよう要求があつたが、なぜ「納得していただくために開きます」と即答しないのか。

梶原議員の質問

7ヶ月も待たせておいて、僅か15分の説明で本市に責任がないと言い放つ野志市長に、住民は改めて失望したのではないか。今まで住民から出でた質問状に回答していないことも、あり得ないが、住民からは本市から初めて出された資料に対し、その内容を十分確認した上で質問でくる説明会を再度開くよう要求があつたが、なぜ「納得していただくために開きます」と即答しないのか。

梶原議員の質問

松山市緑町土砂災害対策技術検討委員会の報告書では、
①斜面変形、②土砂流出、③土砂流下を経て発生したと推定とあるが、
①斜面変形には緊急車両用道路の擁壁・盛土荷重が影響を与えた可能性があると結論付けています。

梶原議員の質問

緊急車両用道路の設計・施工に問題なしとした城山土砂崩れ原因説明の矛盾と本市の責任について

梶原議員の質問

伊予鉄道に坊っちゃん列車運行支援として、新たに2000万円もの補助金を出すとは、伊予鉄道の言いなりなのか、それとも忖度なのか。

梶原議員の質問

伊予鉄道が運行する坊っちゃん列車に対する補助金はこれまで約1億1500万円になる。2025年度当初予算に坊っちゃん列車運行支援事業として新たに2000万円が計上されているが、市民の意思是クラウドファンディングの寄附（寄附者199人、金額283万円）が示すように、自分のお金税金を出してまで坊っちゃん列車を運行するべきという市民は0.4%で、1万人中僅か4人しかいないという見方もできる。いいかげん伊予鉄道の言いなりのをやめてはどうか。

梶原議員の質問

伊予鉄道に坊っちゃん列車は、人手不足や運行赤字を要因に運休しましたが、本市観光産業に与える影響への懸念から、経済団体や観光関連団体などから運行再開に向けた協議や検討、支援の要望がありました。

梶原議員の質問

坊っちゃん列車の安全かつ継続的な運行を支援するため、両市の法定検査やメンテナンスに係る費用を補助することとしたもので、伊予鉄道の言いなりで判断したものではありません。

梶原議員の質問

市民の支持がないのに、運行継続を支援することで観光産業の活性化を図るとしてこじつけたが、私は伊予鉄道に市民の税金で忖度するものとしか思えない。本市は伊予鉄道の打出の

開発建築部長の質問

本市として今回の災害を予見したり、その結果を回避することは不可能であったと言わざるを得ませんので、その管理に瑕疵があったとは言えないと判断しています。

梶原議員の質問

れば、①がなければ②土砂流出、③土砂流下の現象は起きなかつたのであり、本市に責任がないとは言えないのではないか。

梶原議員の質問

2010年の初当選以来4期15年目、全定例市議会60議会連続登壇を続けています。（松山市議会：連続登壇記録更新中）

緊急車両用道路の擁壁は該当したのか？

開発建築部長の質問

梶原議員の質問

開発建築部長の質問

梶原議員の質問

梶原議員の質問

梶原議員の質問

梶原議員の質問

梶原議員の質問

3

建築基準法では、建築確認申請書に原則、地盤調査報告書などの基礎・地盤説明書の添付が必要ですが、建築物の建築に関する確認の特例に該当すれば、報告書の添付が不要となる場合があります。

野志市長は本市の責任を認めて被災者に寄り添い十分な賠償を行なうべきと考えるがどうか。

梶原議員の質問

梶原議員の質問

梶原議員の質問

梶原議員の質問

3

建築基準法では、建築確認申請書に原則、地盤調査報告書などの基礎・地盤説明書の添付が必要ですが、建築物の建築に関する確認の特例に該当すれば、報告書の添付が不要となる場合があります。